



来店者に自慢のお茶を振る舞う「ヤマセン」(片浜)の畑代表

店ごとの味の違いが楽しめる

■お茶カフェ2周年わくわくキャンペーン

茶生産者や茶商などが来店者に自慢のお茶などを無料で振る舞う「お茶カフェ」が2周年を迎え、11月16日から18日まで、市内27店舗で記念キャンペーンが行われました。

お茶カフェは、静岡牧之原茶を広く知ってもらい、緑茶ファンの拡大を狙うために一昨年に始まったものです。

期間中、応募者の中から抽選で市特産品やオリジナルタオルなどがプレゼントされるとあって、市内の店舗は大勢の来場者で賑わいました。

大きく育った秋の味覚に歓声

■自然薯収穫/萩間小

萩間小の4年生児童23人は11月14日、学校農園で自然薯の収穫体験を行いました。

児童が5月に植え付けし、半年間大切に育てたもの。地元の生産農家で組織する「じねんじょファミリー(萩間自然薯研究会、長谷川正治代表)」の指導を受けながら、丁寧に土をかきわけ約50本を掘り出しました。児童からは「長い」「大きい」などと歓声が上がりました。

後日、児童らは自分たちでとろろ汁を作り、旬を迎えた市の特産品を味わいました。



収穫した自然薯を並べて笑顔を見せる児童

産業のチカラで市を盛り上げよう

■まきのはら産業フェア2012

まきのはら産業フェア2012が11月25日、相良庁舎駐車場で開催されました。

市内産業の振興や活性化などを目的に開催されているもので、事業所や団体など約80店舗が参加。友好都市や就航先の市町も出店し、特産品の販売などを行いました。

市商工会女性部のブースでは、地元食材を使ったカレーコンテストで最優秀賞に輝いた「マキティーふるさとカレー」などの試食が行われ、大勢の人たちが列をつくっていました。



「マキティーふるさとカレー」などを試食する来場客



それぞれの字体や書き方で文字を書く両国の書道家

「書」が両国をつなぐ

■日中書道交流会

市文化協会書道部と上海市長寧区書法家協会による日中書道交流会が11月16日、静波リゾートホテル・スウィングビーチで開かれました。

来市したのは朱濤同協会主席ら著名な書道家15人。今年5月に市長をはじめとする訪中団と上海市で交流したことがきっかけで実施されたもの。交流会では、両国の書道家が互いの書を披露し、共通の漢字文化を通じて友好と理解を深めました。

17日には、さざんかで市内の書道教室に通う小中学生を対象に「子ども書道教室」が開かれました。



対局開始直後、盤面を見ながら一手を考える両者(左側が加藤女流王座)

思い出の場所で父に捧げる勝利

■加藤桃子女流王座が初防衛に成功

第2期リコー杯女流王座戦5番勝負第3局が11月10日、藤枝明誠中学校・高等学校で行われ、加藤桃子女流王座が挑戦者の本田小百合女流三段を破り、初防衛しました。

加藤さんは細江出身の17歳で、公益社団法人日本将棋連盟のプロ棋士養成機関である奨励会に在籍。昨年、トーナメント戦を勝ち抜き、初代女流王座に就きました。

対局の舞台は、父の故郷康次さんが棋道部顧問を務め、父の指導を受けた部員を相手に自らも腕を磨いた思い出の場所。加藤さんは、「地元の人たちに応援してもらい、ここで勝てて良かった。勉強してもっと強くなりたい」と話してくれました。

バシャ!!
ズームイン!



広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎(23) 0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

皆が安心して一緒に暮らせるように

■認知症サポーター養成講座/牧之原小

認知症サポーター養成講座が11月6日、牧之原小で開かれました。

脳の機能低下により、誰にでも起こる可能性がある認知症を知ってもらい、身近に感じてもらうために開かれているもの。講師を務めたキャラバン・メイトの小栗美由紀さんは、「驚かせない、急がせない、プライドを傷つけない」とルールを説明し、「相手に視線を合わせる」など7つのポイントを解説。4年生児童35人は、脳のしくみや働き、認知症の方との接し方などについて学びました。



寸劇を通して認知症の方への接し方などを学ぶ児童



車に利用者に乗せて、今日も地域を走る

地域をつなげる住民の足

■運転ボランティア「どこでもカー」

外出が困難な人を送迎する運転ボランティアを行う「どこでもカー」(小泉博生代表)は、このほど「中日ボランティア賞」を受賞しました。

どこでもカーは、平成17年から活動を開始し、現在会員18人、利用実績は月70件、年間800件ほどです。市社会福祉協議会所有の車を使い、主に病院への送迎など利用者の足として活躍しています。

車内では、世間話などで会話も弾み、「ボランティアの方がいてくれて、とても助かる」と利用者はうれしそうに話してくれました。